

序

近年、医療技術の進歩は目覚ましく、特にリハビリテーション分野においては、ロボット技術や人工知能（Artificial Intelligence：AI）の導入など、革新的な取り組みが加速しています。義肢・装具も例外ではなく、高齢社会の進展や多様なニーズに対応するため、その重要性はますます高まっています。

このたび、皆さまにお届けする本書は、作業療法士を目指す学生を主な対象とする、基本的な義肢と装具に関して基礎から臨床までを網羅したテキストです。義肢・装具を専門としていない教員の方々にも使いやすいようにさまざまな工夫をしています。また、すでに義肢・装具学の基礎を修め、より実践的な知識と技術を身に付けたい現役の作業療法士に役に立つ知識・情報も豊富に掲載しており、臨床に出ても使い続けることができます。

本書の特徴は、以下の2点になります。

【義肢・装具の基礎から臨床までを段階的に学ぶ】

第I章では、義肢・装具の基礎知識をわかりやすく解説し、義肢・装具の概論や分類、作業療法の評価と治療について体系的に学びます。第II章では、最新の臨床事例を中心に、より実践的な内容を深めていきます。実際の臨床事例が豊富に掲載されているため、理論と実践のギャップを埋めることができます。

【豊富な図表と写真、動画の掲載】

複雑な概念や技術も、豊富な図表や写真、動画によって視覚的に理解できるよう工夫しています。実際の患者さんに登場してもらった図・動画も多数あります。これらにより、より直感的に内容を把握することができます。

作業療法および義肢・装具は、日々進化を続けています。本書を通して、作業療法士を目指す学生が義肢・装具学の基礎をしっかりと理解し、臨床で活かせる知識と技術を習得することを期待します。そして、本書の内容を習得した後は、さらなる研鑽を重ねていただき、より実践的な知識と技術を身に付けた作業療法士となり、今後の義肢・装具学の発展に貢献できる人材へと成長されること、および、将来、作業療法の対象となる方々の生活の質（Quality of Life：QOL）の向上に貢献できる専門家へと成長されることを心から願っています。

謝辞 最後に、本書の刊行にあたり、執筆にご協力いただいた先生方、そして関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

2024年11月

妹尾勝利